

学位被授与者氏名	金 晶 (きん しょう)
論文題目	<p>The Current Situation of Medical Interpretation in China and the Role of Female Medical Interpreters</p> <p>(中国の医療通訳の現状および女性医療通訳者の役割)</p>
論文審査結果の要旨	<p>法廷通訳にも言えることであるが、医療通訳においても、もし通訳の内容に誤りがあれば当事者の命に関わる可能性があるなど、この分野の通訳者には極めて重大な責任が負わされている。国籍に関わらず誰も病気になり病院を訪れる可能性がある中、外国人にとって医療機関を訪ねることは勇気のいることである。このときの不安を解消し適正な医療が行なわれるように手助けするのが医療通訳者であり、その責任は重い。にもかかわらずその実情は、多くの人々の前で行なわれ脚光を浴びることの多い会議通訳などと比べてみると一般の人々から認知される機会は少なく、プロではなくボランティアベースの通訳者に依存するなど、その重大さからすれば不当とも言える現状がある。それだけに、今後優れた医療通訳者を養成し、こうしたニーズに応えることは緊急の課題と言える。</p> <p>本論文はこうした問題意識から取り組まれ、中国、アメリカ、日本における医療通訳とその養成課程等について考察し、ことに医療通訳後進国である中国においてどのような問題意識を持ちどのような養成プログラムを構築していけばよいのかについて精緻なデータに基づき論じている。他の分野の通訳についてもあてはまることには違いないが、この分野の通訳者には病気の名前、身体の部位の名前、薬品の名前などあらかじめ身につけておかなければならない予備知識のレベルが高い。語学面の訓練とあわせて医学部との連携によってこうした知識を無理なく身につけていく仕組みづくりなど、参考にすべき提言である。</p> <p>また、女性にとって妊娠や出産は、普段病気をしない健康な人であっても必ず病院の世話にならなければならないことがらであり、時には出産において命を落とすこともありうることがらであり、不安を禁じえないことがらである。現在多くの病院において医者は男性であることが多く、その不安を解消させるためにも医療通訳者は女性であることが望まれる。それは乳腺や子宮の病気の際も同様である。こうしたことを踏まえ、本論文では女性医療通訳者の養成の必要性をかなりのページを割いて論じており、女性ならではの問題意識に基づいた的確な主張であると思われる。</p> <p>論者は同時に通訳訓練にも励み、学び練習する中で課題を精査し、本論の中で深めている。また 2013 年の夏期休暇期間中、中国の病院を実際に訪れて聞き取り調査をすると同時に医療通訳の実習をさせていただいており、理論と実践のいずれにも通じた立場から、データに基づき丁寧な論述を行なっている。本論文は今後の医療通訳養成に向けての優れた指針となっており、高く評価できる論文である。</p> <p>平成 26 年 2 月 19 日に、北九州市立大学北方キャンパス本館 B-301 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(比較文化)として十分な内容であると判定した。</p>